

# 農業用廃プラも燃料化すれば役立つ資源に

農業用廃プラスチックの地域内資源循環システムの社会実装

リサイクルが困難な  
使用済み長いもネット



## 背景

- 道内の農業用廃プラスチック排出量は2万トン/年で、うち17%はそのままでは、リサイクルが困難なため、再利用できずに埋立・焼却処分されています
- 芽室町は農業用廃プラスチックを含む、農産残さの燃料化（ペレット化）を進めていますが、経済性を確保するには、低コストで高効率な処理技術と各処理の最適な編成、また高度な燃焼技術が必要です

## 成果

地域内資源循環プロセスの成功のカギを握る技術の成果が得られました



長いも栽培風景

回収



長いもネットに  
茎葉・土砂が絡み  
ついた回収状態

ネット・茎葉

**1** ペレット燃料の高品質化に  
不可欠な前処理技術の構築



粉碎

茎葉・  
土砂の分離



**2** 様々な混合原料へ対応可能  
なペレット製造技術の確立

ネット



小豆殻

剪定枝

成形条件：水分、温度、寸法

小豆殻+ネット(5%) ネット(5%)+剪定枝



良好な成形性

**3** 高灰分燃料に対応した  
ボイラの製品化

- 原料混合比に応じた可変運転プログラム
- 燃焼効率を損ねる灰の排出機構

灰の  
排出機構



ペレット

## 期待される効果

- ボイラ熱の町内宿泊施設への提供や、焼却灰の融雪促進剤としての利用が期待できます。
- 農業用廃プラスチックを地域内で熱エネルギーとして有効利用する、全国に先駆けたサーマルリサイクルモデルの実現が期待できます。